

# 広島県・沖縄県の採卵鶏農場で 高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認！ (家きん国内36・37例目)

## 【概要】

- ・36例目：広島県世羅町 採卵鶏 約12万羽
  - ・37例目：沖縄県金武町 採卵鶏 約4.5万羽
- 簡易検査および遺伝子検査で陽性。  
高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

- ※鳥インフルエンザの発生が過去にないペースで続いています。  
生産者の皆さんはくれぐれもご注意ください。
- ※小規模農場も例外ではありません！

### <踏み込み消毒槽の作り方と使い方>

踏込消毒槽は、高病原性鳥インフルエンザだけではなく、様々な病原体の侵入リスクを下げるために有効です。畜舎や農場の出入口に常備しておきます。

- ① 準備するもの：消毒薬が10L程度入るプラスチック容器と消毒薬
- ② 消毒薬は用法及び用量に従い調整します。
- ③ 使用方法
  - ・家きん舎出入口には、まず靴底などに付いた泥や糞尿を洗い落とすために水だけ入れた洗浄槽と消毒薬を添加した消毒槽の2つを置き、家きん舎への立入及び退出時には、必ず踏み込み消毒を行うようにします。
  - ・洗浄槽で長靴に付着している泥や糞尿を洗い落とした後、長靴を消毒槽に浸漬します。洗浄槽がない場合でも、消毒槽に浸透する前には、長靴を必ず洗浄して泥などを取り除いておきます。
  - ・なお、消毒槽に中蓋(直径5センチくらいの穴を7～8個くらい空けた発泡スチロール)を浮かべて、その上から踏み込むと、中蓋の穴から強い水流が出てきて消毒効果が増します。
  - ・泥や糞尿などの有機物が含まれると、消毒薬の効果が落ちますので、洗浄用の水や消毒薬が汚れたらすぐに交換するようにします。

- ① 早期発見・早期通報
- ② 家きん飼養農場の防鳥ネットの再確認
- ③ ウイルスの人・車両又は野鳥を含む野生動物を介した農場内及び家きん舎内への侵入防止対策の徹底
- ④ 農場周辺の消石灰散布など消毒の徹底

鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで  
電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728  
夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018



# 農場周辺の高病原性鳥インフルエンザのウイルスが非常に多くなっています！

全国的に高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています。

これまで以上に、本病の発生予防を徹底しましょう！

家きん舎への人や、野生動物によるウイルスの侵入を防ぐことが特に重要です！

## 発生予防対策の特に重要なポイント

- 農場内や家きん舎周囲の消毒は毎日行いましょう！
- 家きん舎等への出入り時に消毒の実施・長靴の交換が適切にできているか、動線が交差していないか、今一度、点検・確認をお願いします！
- 長靴はしっかり汚れを落としてから消毒し、踏込消毒槽などの消毒薬は少なくとも毎日、汚れたらその都度、交換しましょう！
- 農場内や家きん舎の周囲にはウイルスが侵入する経路が多く存在していますので、今一度、点検・確認をお願いします！



◆ 飼養家さんの毎日の健康観察を念入りに行い、異状を見つけた場合は、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に連絡してください。

農林水産省HP「鳥インフルエンザに関する情報」→

